

News Release

No. 17-01

2017年2月3日

昭和産業グループ 長期ビジョンおよび新中期経営計画策定のお知らせ

昭和産業株式会社（社長：新妻一彦）は、2025年に向けたグループ全体のありたい姿を示す長期ビジョン「**SHOWA Next Stage for 2025**」、および2017年4月開始の新たな3ヶ年計画「中期経営計画17-19」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 「**SHOWA Next Stage for 2025**」策定の背景

昭和産業は、1936年の創業以来、大地の恵みである小麦・大豆・菜種・トウモロコシなどの穀物から、「おいしい答え」をお届けする「穀物ソリューション・カンパニー」として、多種多量の穀物を扱うシナジー効果を生かし、「食」に携わる様々な企業のみなさまへ課題の解決策をご提案してまいりました。2012年よりスタートした「中期経営計画12-16」では、基盤事業の持続的成長や効率化の推進により、組織としての体幹が鍛えられてきたものと考えております。

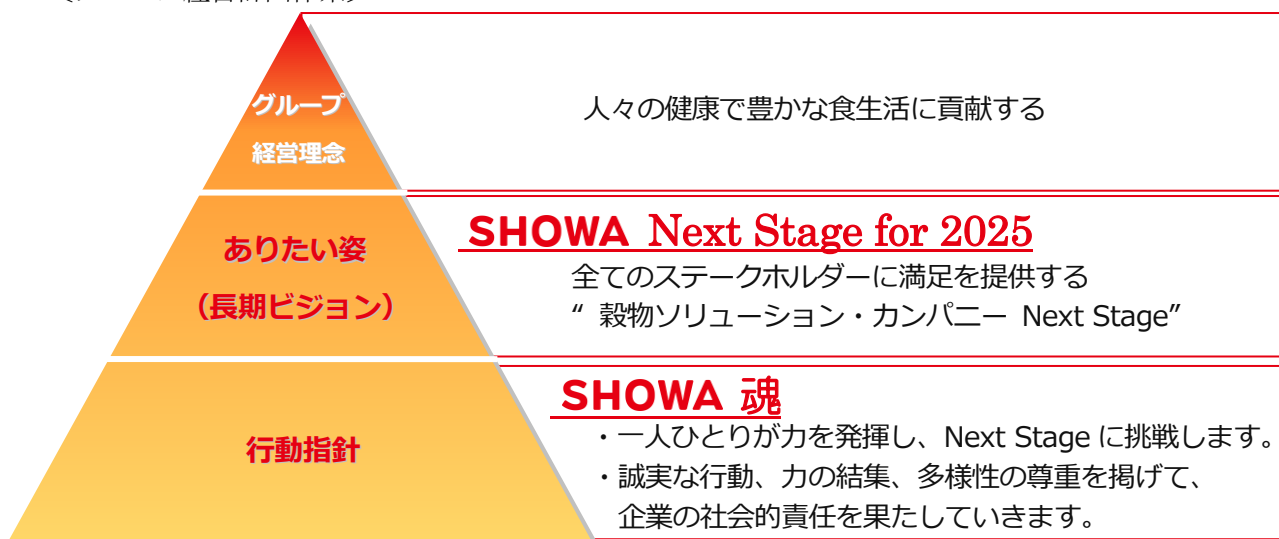
一方で、事業環境の変化に対応し、更なる成長戦略を実現するためには、過去の経験からの積上げ目標ではなく、ゼロベースで、ありたい姿から大胆な目標を設定する視点が必要であると考え、当社90周年を迎える2025年のありたい姿（長期ビジョン）「**SHOWA Next Stage for 2025**」を策定いたしました。「**SHOWA Next Stage for 2025**」を今後の戦略立案における経営判断基軸とし、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

2. 「**SHOWA Next Stage for 2025**」の概要

（1）「**SHOWA Next Stage for 2025**」の位置付け

グループ経営理念に基づき策定し、当社90周年を迎える2025年の当社グループのありたい姿を示すものです。

〔グループ経営計画体系〕



(2) 内容

〔ありたい姿〕

全てのステークホルダーに満足を提供する“穀物ソリューション・カンパニー Next Stage”

～幹を太くし、枝葉を広げ、世の中のためになる果実を育てる～

連結売上高 4,000億円、連結経常利益200億円を目指してまいります。

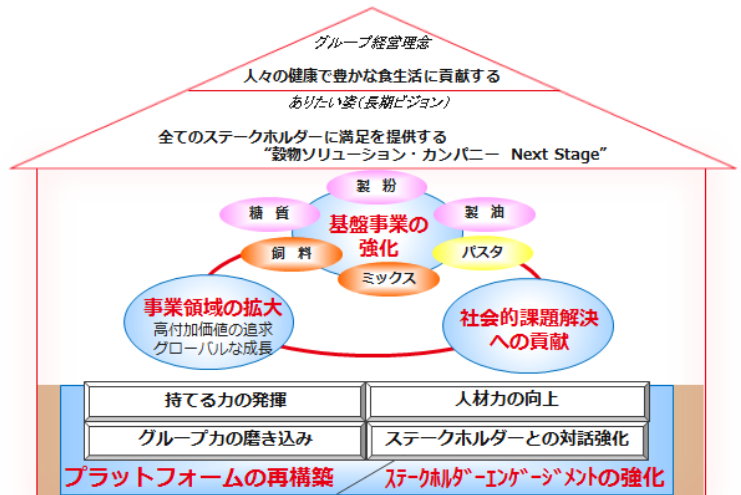
〔方針〕

昭和産業グループならではの複合系シナジーソリューションを進化させると共に、ESG(※)視点での取り組みも強化し、企業価値の向上に努めてまいります。

〔期間〕

2017年度～2025年度（9年間）

※ESG…環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったもので、企業に対する投資判断基準の一つ。



3. 1st Stage「中期経営計画17-19」の概要

「**SHOWA** Next Stage for 2025」の実現に向けては、1st Stage、2nd Stage、3rd Stageの三次に分けて中期経営計画を展開してまいります。

(1) 「中期経営計画17-19」の基本方針

ありたい姿（長期ビジョン）の実現に向けた足場固めの期間と位置付け、安定的収益基盤の確立と、更なる成長への準備をしてまいります。

(2) 内容

〔基本戦略〕

① 基盤事業の強化

- ・コア事業の磨き上げ
- ・顧客価値を掘り起こす独自の事業構造確立
- ・コアコンピタンスを生かした競争優位性の発揮

② 事業領域の拡大

- ・昭和産業グループにふさわしいセグメント領域の確定

③ 社会的課題解決への貢献

- ・事業活動を通じた社会への貢献（CSV(※)戦略への発展）
- ※CSV…共通価値の創造。
経済価値と社会価値の同時追求。

④ プラットフォームの再構築

- ・持てる力の発揮とグループ経営の推進

⑤ ステークホルダーエンゲージメントの強化

- ・コーポレートコミュニケーション活動を通じたステークホルダーとの信頼関係の確立

〔期間〕

2017年度～2019年度

(3) 数値目標

連結売上高	2,600億円
連結経常利益	115億円
ROE	9.0%以上
自己資本比率	50%以上

上記数値目標を達成することにより、収益性の向上、財務体質の強化をはかってまいります。

以上

この件に関する報道関係の方々のお問い合わせ先
昭和産業株式会社 経営企画部
コーポレート・コミュニケーション室 担当：久田
〒101-8521 東京都千代田区内神田 2 丁目 2 番 1 号
TEL：03-3257-2042
FAX：03-3257-2097